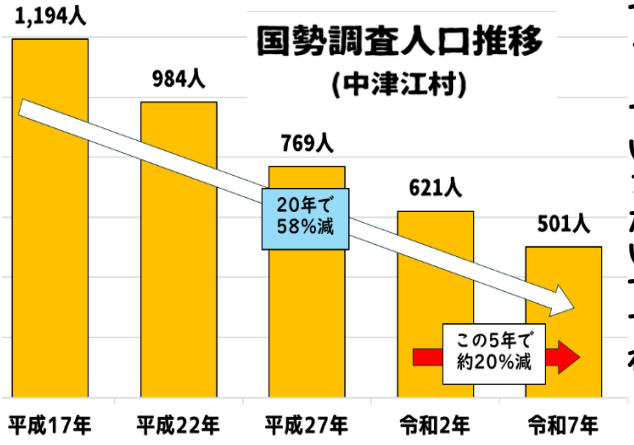
中津江 むらづくり役場 『かわら版』

住民自治組織　中津江振興協議会　《第39版》　2026.11.1　☎54－3200

人口は減っても、地域の力はなくならない！

昨年10月1日時点で実施された「国勢調査」、人口等の基本集計結果が公表されました。中津江村の人口は5年前から約20％減少し、501人となりました。

全国的に人口減少が進む中、過疎化や高齢化は避けて通れない大きな課題です。しかし、人口が減ることだけが問題ではありません。大切にしたいのは、ここで暮らす一人ひとりが、安心して、楽しく、自分らしく暮らし続けられることです。困ったときに助け合えることや気軽に声をかけ合えること。地域の行事や集まりで笑顔になれること。そして、中津江の自然や文化、歴史を次の世代へつないでいくこと。「人が減っても、ここに住んでいてよかった」と思える中津江を、みんなでつくっていきたいですね。



令和７年国勢調査結果〔中津江村〕
人口501人（男性250人・女性251人）
高齢化率57.7％　平均年齢65.1歳

今年は福岡で地域をPR♪

地域資源を内外に発信し次代へ伝える取組みを行っている「つくる部会」。毎年、都市部の物産展に参加し、中津江のPR活動を行っています。北九州市、熊本市に続き、今年は福岡市役所前で開催された「筑後川のめぐみフェスティバル」に出展。新米や柚子こしょう、木工品など地域産品の販売に加え、宝探し体験（砂金採り）を実施。ステージ上では、片桐部会長が来場者への地域アピールも。小さな村から大都市へのメッセージは大好評でした。





10/17～10/18　福岡市役所前

地区に広がる支え合いづくり♪

国東市の豊崎地区で住民による支え合い活動を行っている「一村一心の会」の皆さんが、むらづくり役場の活動についての視察研修に訪れました。地域カフェや送迎サービス、生活の困り事解決の取組など様々な活動を行っている一村一心の会は「無理なく、楽しく続けられるよう」をモットーに平成31年に設立。高齢化や人口減少など抱える悩みは同じでしたが、参考となる事業が多く、逆に勉強させていただく機会となりました。



10/23　振興局

人・コト・場所のつながりを深める♪

〝日常につどいの彩りを〟をテーマに活動している「つどう部会」が、振興局前広場で久しぶりの月いちバザールを開催しました。焼きそば、おこわ等の屋台、子ども達に人気の射的コーナーも登場し、深まる秋の一時を楽しんでもらいました。とても上手くなったと噂の!?山崎先生のソロライブも会場を盛り上げてくださいました。最後には、暑かった夏を懐かしむような打上げ花火で終了。なかなか月一回での開催はできていませんが、ふるさとまつりの企画など、多くの人が関わるつどいの場を創出する取組みを考えている「つどう部会」、次の一手に期待です。





10/10　振興局前

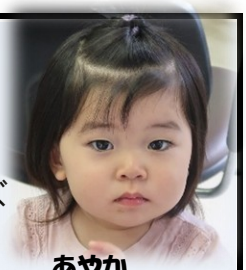
地域のお宝！ 今月のご長寿さん・・



西　ヤス子さん
(宮原)91歳
昭和9年生まれ

宮原集落を一人で守られているヤス子さん。ご両親は、黒谷から金山で働くため市ノ瀬に引っ越され、幼かったヤス子さんは、8人兄妹の5番目で、よくママゴトや川で泳いで遊んでいたそうです。鯛生小3年の時に終戦を迎え、中学校は義務教育になったものの喘息が悪かったお父さんを助けて、子守りや山仕事など頑張られたとのこと。20歳ごろ、家族で市ノ瀬から宮原に開拓で入られ、その頃10軒位の集落になったそうです。ご主人は同じ集落の方で、一緒に間伐や材木出しをして、帰っては育児に炊事に田畑と休む暇なく“仕事ばかりの人生”とふり返られ、チェーンソー以外の機械は全て使ってきましたとの事。凄すぎです！今は、週1回の「ディサービス」と「通いの場」を楽しみにされ、お家では「脳トレ」の本で頭を鍛えておられます。訪問した日も一人で宮原天満宮をお守りしていたヤス子さん。いつも笑顔で迎えて頂きうれしいです。これからもお元気でお過ごし下さい。

地域のお宝！ 今月の若ぇ～し・・



田島　彩楓ちゃん
(池ノ山)1歳
令和6年生まれ

つえっ子こども園のおひさま組に通園している彩楓ちゃん。お家では誰よりも早起きさん。大好きなチーズが食べたくて、パパを起こして冷蔵庫まで引っ張って行っておねだりするそう。ブルーベリーやぶどうそしてパパお手製のスパイスカレーは絶品で、彩ちゃんの大好物だそうです。5歳になるねーねー(お姉ちゃん)は優しくて、ヒラヒラした綺麗な布を髪や体に付けて、2人でプリンセスごっこにハマってます。ねーねーは、彩ちゃんの一番の理解者で何をしたいのか、どうして泣いてるのか、直ぐに分かるので、よくお世話してくれて助かってるそうです。ママに初めて抱かれた時は、片目を開けてウィンク。もう直ぐ2歳の彩ちゃんは、自分で着る服を選ぶオシャレさん。彩り豊かな紅葉の時期に生まれ、楓の葉の様に風に乗って、時代に流されず自分らしく生きて欲しいという願いが込められています。ねーねーと仲良くスクスク育ってね！

こんにちは！ 津江小中学校育友会です！ <秋季大運動会開催>

育友会からだ部長の川津です。今年の活動は天気に恵まれない事が多く、球技大会は台風接近で延期、学校グランドの草刈作業は雨天で全体作業がなくなり、運動会も雨天延期。「部長が雨男では？」という声もチラホラ。そんな中、１０月４日（日）、津江小中学校運動会が開催されました。保護者も競技準備で奮闘。スムーズな競技進行に協力できました。大人の底力を見せつけようと育友会競技で綱引きを行う予定でしたが、残念ながら雨が降り中止に。子ども達の競技が出来ただけでも良しとするかと自分を納得させています。１１月１日には中津江の「歩こう走ろう会」と一緒に「津江小中学校ウォーキング大会」を同時開催します。児童・生徒と地域の皆様が触れ合える良い機会なので、気持ち良い秋晴れになればいいなと思っています。









つれづれ

サイバー攻撃だのPHPの脆弱性をAIが発見しただの、ちゃんと理解はできないが何だか大変そうな事態が続いている！らしい…（PHPって聞いて、あの本を思い出したのは私だけではないはず。）理解していないと言えば、立ち上げから丸8年を経過した住民自治組織（むらづくり役場）の事についてである。分かってなければならない立場の人が、それも直接ではなく間接的に自治組織の運営に疑問を示しているという。内容は全くの的外れで、取るにも足らない事なんだが、八方美人で臆病者の私は心穏やかでない。設立までの進まない協議に竹原ピストルの曲、オールドルーキーを聞きながら涙が止まらくなったり、前例のない取組みに途方に暮れたり、8年も経っているいるのに本当に地域の役に立てているんだろうかと宙を見つめて溜息ついたり。そんな苦労!?なんて、決して知らないんだろうな。“必要なのは走り続けることじゃない、走り始め続けることだ”オールドルーキーの歌詞に再び涙する私に隣からは、「呑んで感傷に浸ってても何も伝わらないよ！言う時はシラフでちゃんと言わないと！」おっしゃる通り…酒飲みの愚痴かもしれんが、飲んでも忘れられんことがあるうちは、まだボケちょらん…と思いたい(笑)さぁ、もう1杯〔描蔵〕

中津江を思う温かなお気持ちに、感謝を込めて

昭和63年6月から8年間、中津江村長を歴任された北村益郁氏が8月に亡くなられました。享年95歳でした。北村氏は急逝した斎藤村長の後を受け、中津江村の活性化に努めてこられ、在任中には鯛生スポーツセンター建設、池ノ山の栃野ニュータウン整備、村民ホール建設など数多くの事業を実施。スポーツ振興と地域コミュニティの基盤づくりを推進されました。また、台風19号で倒壊した宮園神社の復旧を始め、甚大な台風被害の復興を牽引。地元を離れてからも、ずっと中津江の事を気にされておられたと、事務所を訪れてくださった次男の宣幸さんが話されていました。



逝去にあたり、中津江のために使ってくださいと御寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。お寄せいただいたご厚志は、これからの地域づくりのため、大切に活用させていただきます。

一般寄付　100,000円
～北村宣幸氏より～
（北村益郁氏逝去に伴う香典返しとして）